



「ふれあいの里山」復活大作戦

日時	2016年8月6日(土) 9時00分～12時00分(午前中のみ)	
場所	金ヶ崎公園	
参加者	エコウイング会員／5名、事務局／1名	計／6名

● 午前

今日は朝から夏空が広がり、猛暑の1日でした。気温が上がり、熱中症の心配があることと、午後の都合が悪いメンバーもいたことから、今日は午前中の市民自然図鑑の昆虫観察だけで、午後の里山整備作業は中止としました。

今日は、朝から30℃近い気温になり、公園内のあちこちでクマゼミやアブラゼミ、ミンミンゼミ、ニイニイゼミなどセミのなかまが元気に鳴いていました。8月に入ったばかりなのに、ツクツクボウシの声も聞こえました。

公園内を歩いて回るだけで汗が噴き出す暑さでしたが、12時前に観察会を終え今日の活動を終了して解散しました。

- 次回の活動は9月3日(土)の予定です。そろそろ秋の気配も感じられるようになっていると思います。たくさんの皆様のご参加をお待ちしています。

昆虫観察の様子(その1)



昆虫観察の様子(その2)



※ 今日、金ヶ崎公園で大変気がかりな事態が発生していることに気づきました。公園内のアベマキの大木4本の葉が茶色なってに枯れていて、幹の根元には粉状の木屑がたくさん落ちています。幹には小さな穴も確認できました。カシノナガキクイムシによる「ナラ枯れ」の症状です。放置しておくと、公園中に被害が広まります。早急な対応が必要です。

葉が茶色になり「ナラ枯れ」のアベマキ



幹の根元の粉状の木屑



幹には小さな穴も



MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その1)

今日、金ヶ崎公園の観察会で撮影した昆虫などを紹介します。猛暑の中で、チョウやセミ、トンボ、コウチュウ、ハチ、ガなどのなかまが色々と確認できました。チョウやガのなかまでは、翅が傷んだものも多く見られました。

観察の途中、公園内の道路や側溝の中に、小さな赤い昆虫がたくさん動き回っているのを見つけました。最初はクモのなかまかと思いましたが、よく観察すると昆虫のようですが正体はよくわかりません。

翅が傷んだアオスジアゲハ



ホシミスジ

翅が傷んだアゲハ



アサマイチモンジ

クロアゲハ



ツマグロヒョウモン(メス)



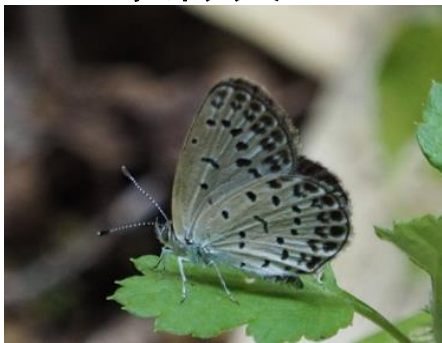
ヤマトシジミ



イチモンジセセリ



アブラゼミ



ニイニイゼミ



ミンミンゼミ



クマゼミ(オス)



MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その2)

アオモンイトトンボ



ハグロトンボ(オス)



シオカラトンボ(オス)



ウチワヤンマ



キマワリ(右)とカミキリムシ?のなかま



オオナガコメツキ



キマダラカミキリ



ミカドトックリバチ



セグロアシナガバチ



水を飲むオオスズメバチ



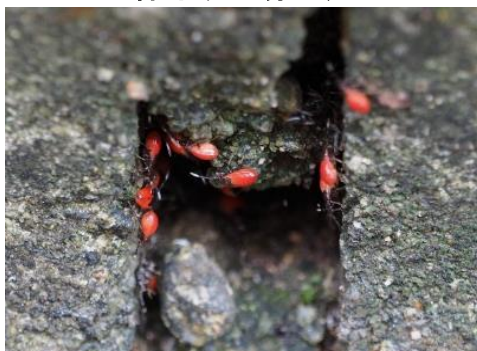
シモフリスズメ



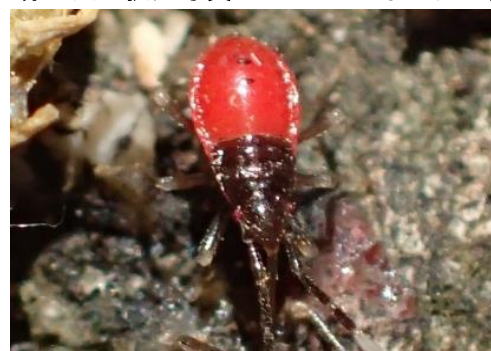
翅が傷んだオオトモ



正体不明の赤い昆虫



赤い虫の拡大写真⇒カメムシのなかまの幼虫



MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その3)

野鳥は、猛暑のせいあまり多くは姿を見せませんでした。ふもとの北浦池の上空をミサゴが悠々と旋回する姿を確認しました。そのほかには、常連のハクセキレイを確認しました。

そのほかの生き物では、ツチガエルやニホントカゲの姿を確認しました。公園内の水路では、外来種のミシシippアカミミガメも顔を出していました。

北浦池上空を旋回するミサゴ



ハクセキレイ



ツチガエル



ニホントカゲ



ミシシippアカミミガメ



植物では、ススキの根元に早くもナンバンギセルの花芽が伸び始めていました。公園内のあちこちに外来種のタカサゴユリが、また水路にはスイレンの花が、それぞれ白い花を咲かせていました。

ナンバンギセルの花芽



タカサゴユリの花



スイレンの花

